

マイナまた誤交付

富士通がシステム再停止

なった」と陳謝してしました。

今回、宗像市で判明した問題は、過去に別の自治体で起きた不具合に対するプログラム修正が、同市を含む41団体が反映されていなかったのが原因といえます。17日までの一斉点検が、過去の事例も含めて十分な範囲で実施されたのかどうかが問われそうです。富士通は、自治体向けに提供している他のサービスも点検を検討します。

富士通は30日までに、マイナバーカードを使ったコンビニエンスストアでの証明書交付サービスについて、システムを再停止すると発表しました。福岡県宗像市で別人の住民票が交付されるトラブルが新たに判

明し、再点検が必要と判断しました。提供先の自治体など全1233団体が対象で、再開時期は未定とい

ます。システムは富士通子会社の富士通Japan(シャパン、東京)が提供。この

システムを巡っては3月以降、別人の住民票が交付されるなどのトラブルが相次ぎ、富士通は運用を一時停止し17日まで一斉点検を実施。26日の株主総会では、時田隆仁社長が「マイナン

バーに対する不信の発端と